

2023年
年頭あいさつ

仲間との

執行委員長 日和田典之

出会いと交流を大切に

組合員の皆さん、日頃ご支援頂いている関係者の皆さん、明けましておめでとうございます。とはいえ、これからの一年は、私たちの社会の行方を決めかねない、大変な年になる予感がします。

れ、命が奪われ、避難する数百万の人々の姿が映し出されました。南部のザポリージャ原発に砲弾が打ち込まれた時には、ヨーロッパ中が放射能の恐怖におびえました。

は、政権与党ですら、できるだけ原発に頼らない社会を目指すとしてきました。しかし、ウクライナの現実を目の当たりにしながら、国会をスルーして岸田政権が打ち出したのは、軍事費の倍増と原発推進への回帰、平和

で安全な社会とは真逆の道でした。
追い詰められる生活
すさんだ職場
エネルギー価格の高騰、円安による値上がり、コロナ禍での減収、国民

「平和と安全」と真逆 軍備増強・原発推進

ロシアのウクライナ侵攻で、街と生活が破壊さ

曝国として、絶対に戦争をしないと誓ってききました。福島第一原発の事故以降

**ユニオン
ショック**

2023年1月 306号
よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX045-575-1948
E-mail yuniyoko@d2.dion.ne.jp
ホームページ http://yuniyoko.sakura.ne.jp
組合費納入 横浜銀行 鶴見西口支店 普 1309777
郵便振替 00230-4-30435 よこはまシティユニオン



負担の増大と働く人々の生活は、どんどん追い詰められています。不当な事をされても、食べるのに精一杯で声を上げることすらできない人はたくさんいます。すさんだ職場では、ハラスメントが横行しています。よこはまシティユニオンに寄せられるほとんどの相談がハラスメント被害を訴えているのは、こんな社会の反映です。ウーバー、イーツやアマゾンなど、委託の名の下に無権利状態にされる労働者も急増しています。

ユニオンに必要な 新しい力

よこはまシティユニオンは組合員1000人強、男女比率ほぼ半々の小さな組織です。年ごとに大きくなるユニオンの役割を果たすためには、組合員を増やし、新しいアイデアとエネルギーでユニオンを活性化することが不可欠です。コロナ禍で組合員同士の交流もま

まならない状況が続いていましたが、「女子会」も復活しました。組合員の皆さんが自ら活動に踏み出し、たくさんの人と出会い、つどい、組合員を増やしていきましょう。

社会的運動も ガンバリ

ハラスメントを訴えた若手社員や、ハラスメントにより休業に追い込まれた女性社員を逆に裁判で訴えまくるユーコーコムユニティー(株)。ユニオンや弁護士まで訴えられています。負けるわけにはいきません。

また、労災認定に対する使用者の異議申立や裁量労働制の拡大など、労働者を守るべき法律や制度も立て続けに改悪が目論まれています。

組合員が抱えるそれぞれの問題の解決に力をつくすと共に、最低賃金の引き上げ、脱原発、戦争反対など、さまざまな社会的運動もガンバリましょう。